

## 日本が誇る希少資源

～環境に配慮した元素資源の利用～



主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

**会期**：平成25年8月19日（月）13:00～17:00

**会場**：化学会館会議室（東京都千代田区神田駿河台1-5）

JR 御茶ノ水駅・丸ノ内線 御茶ノ水駅・千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩5分

**募集人員**：100名

### 趣旨

次世代自動車のモーターに用いられている磁石材料や、パソコン・携帯電話等のバッテリーに用いられる電池材料、半導体などの電子材料、高強度材などの構造材料の開発にはレアメタルをはじめとした希少資源の存在は欠かせません。これまで、日本は希少資源の供給を輸入に頼ってきており、自国資源は少ないと考えられてきました。

最近、南鳥島近海の水深5000mの海底泥にハイブリッド車のモーターに使われるジスプロシウム、液晶テレビに使われるテルビウムなどのレアアースが高濃度で含まれるなど、日本にも希少資源が豊富に存在することが明らかになってきました。海洋大国である日本では、レアメタル以外にもマンガン団塊など海底資源の開発が期待されています。また、マグマは地球内部から金属元素を運搬し、地表付近で濃縮する働きをするため、火山国である日本の陸域には古くから有用な金属鉱山があります。このような天然資源以外にも、家電製品などに使用されたレアメタルなどの希少資源が廃棄物として国内に蓄積されており、都市鉱山と呼ばれています。

そこで、第6回環境教育講演会では、海洋および陸域における希少資源開発として「海底資源」、「地熱系における貴金属回収」、都市鉱山として「レアメタルのリサイクリング」など、世界をリードする研究者に最先端研究についてご講演をいただきます。環境に配慮した元素資源の利用を学ぶことで、日本と資源のこれからを考えます。

### タイムスケジュール

13:00-13:05	はじめに	環境・安全推進委員会教育小委員会委員長	大河内 博
13:05-13:55	講演1『日本のレアメタル確保戦略』	経済産業省資源エネルギー庁 資源・燃料部鉱物資源課課長	萩原崇弘
14:05-14:55	講演2『南鳥島周辺の排他的経済水域の海底には、どのくらい金属資源が眠っているのか?』	早稲田大学創造理工学部環境資源工学科助教	町田嗣樹
15:10-16:00	講演3『地熱系における微量元素の化学：レアメタルの回収をめざして』	九州大学理学部教授	横山拓史
16:10-17:00	講演4『廃電子機器からのレアメタル回収技術』	早稲田大学創造理工学部環境資源工学科教授	大和田秀二

**対象**：初中等教育現場で環境教育を担う教員、環境問題に取り組む企業技術者・研究者、環境問題の最新情報を求める一般社会人、環境問題の全体像把握を目指す学生・生徒など。

**参加費**：無料。講演資料代1,000円（当日払い）。

**申込方法**：環境・安全推進委員会 HP (<http://www.csi.jp/es/index.html>) からお申し込みください。E-mailでのお申し込みの際は以下の問い合わせ先のアドレスに、「8/19 環境教育講演会 出席」と表記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX番号・E-mail・会員/非会員の別を明記の上、お申し込みください。

なお、講演資料代の銀行払い・請求書をご希望の節は、その旨をお書き添えください。

**問い合わせ先**：日本化学会企画部 担当：美園 E-mail：env\_safe@chemistry.or.jp